

選ばれる「グローバルMIC

Meeting Place Fukuoka (MPF) は、MICEと呼ばれる国際・国内会議、企業の報奨・研修旅行、展示会やイベント等の会場選定、視察の受入れ、交流会の情報提供に至るまで、MICEのプロフェッショナル集団がワンストップサービス



IGLTA（国際LGBTQ+旅行協会） 福岡サテライトイベントレポート

IGLTAとは、LGBTQ+ツーリズムの普及を目的とした国際旅行団体で、世界約80か国の旅行社、メディア、ホテルなど、業界のプロたちが構成されています。昨年アジア初開催となった大阪世界総会には、約50か国から575名が参加しました。

LGBTQ+の方々は、旅行を楽しむ人が多く、旅行消費額も大きいことから、その経済効果が期待される一方で、多様性を求める社会の動きにより、旅の在り方、対応について、業界全体で理解することが求められています。

そこで、2024年10月31日（木）、LGBTQ+ツーリズムについて正しく理解することを目的に、「IGLTA福岡サテライトイベント」を大名カンファレンスにて開催し、賛助会員をはじめとする、約100名の方々に参加いただきました。

イベントは、世界総会に準じた「国際会議仕立て」のプログラムで構成し、大阪に参加した、IGLTA国際本部の理事、旅行社、メディアから10名の海外参加者を招けいしました。10名は全員当事者であり、「LGBTQ+」「旅行業界」2つの視点からの講演やパネルディスカッションは、具体的かつ説得力のあるものでした。

講演の中でまず提示されたのは、LGBTQ+に属する人の全人口に占める割合が、左利きや血液型がAB型の人と同じだということ。このことから、LGBTQ+ツーリズムに必要なのは、ごく少数の、特別な人たちに、特別なサービスをする、ことではなく、例えば、カップルが必ずしも男女であるとは限らない、という「思い込みの転換」である、というものでした。ホテルやレストラン、ショップなどで実際にあった具体的な事例がいくつも紹介されました。

今回のイベントに参加された株式会社ホテルオークラ福岡の宿泊部シニアマネージャー西村麻希様から感想をいただきました。「今回のイベントに参加してまず感じたことは“笑顔は周りを輝かせる”ということ。弊社ではご来館の皆様におもてなしの想いをお伝えたくロビーにレインボーカラーを使用した装飾でお出迎えしました。この想いを一過性で終わらせることなく、福岡を訪れるすべての方々に笑顔で接し、ご満足いただけるよう努めてまいります。」

福岡が、訪れる全ての人々を温かく包み込み、選ばれる都市であるために、賛助会員の皆様とともにグローバルスタンダードを追求できるよう、今後もさらなる機会の提供に取り組んでいきます。



▲基調講演1



▲基調講演2



▲パネルディスカッションの様子

福岡グローバルMICEスクールの学生が「IGLTA福岡サテライトイベント」に参加

2024年6月からMICEの運営等について学んでいる「福岡グローバルMICEスクール」の学生8名が、IGLTAメンバーである10名の海外参加者に「IGLTA世界総会を福岡に誘致する」というテーマで、英語でプレゼンを行いました。このプレゼンのために、約3ヵ月間何度も対面やオンラインで打ち合わせを行い、全員で提案書を作り上げました。

このワークショップを通じて、世界にたくさんいらっしゃるLGBTQ+の方たちが、安心して福岡へ観光に来てもらえるようにするための工夫やアイデアを学びました。

また、プレゼンを聞いたIGLTAメンバーからは、『いつかIGLTA福岡大会ができると思います!』と学生たちのチームワークを絶賛していました。



「E都市・福岡」を目指す!



誘致を促進するために、福岡観光コンベンションビューロー (FCVB) の中で組織強化された部署です。により総合的に主催者を支援しています。



福岡の魅力を世界へ発信

ー ユニークベニュー実証イベント「WAZA Department in FUKUOKA」開催

2024年11月7日(木)に観光庁「海外からのミーティング・インセンティブ旅行誘致に向けた地域連携支援事業」によるユニークベニュー実証イベントが、警固神社(福岡市中央区)で開催されました。「WAZA Department in FUKUOKA」と題された本イベントには、国内外より招待した観光事業者約100名の方々が参加され、福岡の奥深い魅力を体感していただきました。

第一部では、警固神社の境内にて博多織や、茶道、八女和紙を使用した御朱印帳制作、組子細工のコースター制作などを体験。第二部は、THE KEGO CLUB by HAPPO-EN(同社務所ビル内)にてレセプションを開催し、地元の食材を使用した料理が提供されると同時に、ステージでは数々のパフォーマンスが披露され、会場が一体となって盛り上がりしました。

「WAZA Department in FUKUOKA」は、FCVB、八芳園エリアプロデュース警固、八芳園交流コンテンツプロデュースで構成された「福岡エリアMICEビジネス協議会」により実施され、福岡の持つ歴史的・文化的価値を再発見し、新たな会場で福岡ならではの体験をしていただくことで、福岡の魅力を世界に発信する大きな一歩となりました。本イベントの成功は、福岡がMICE市場においてさらなる成長を遂げる基盤となるとともに、舞台となった警固神社は、これからも福岡を象徴するユニークベニューとして、MICEに活用されることが期待されています。



▲ジャパンマーベラスによるパフォーマンス



▲警固神社に設えられた茶道体験ブース



福岡市指定有形文化財

住吉神社能楽殿で学会晩餐会を初開催!

2024年11月9日(土)、「国際バイオフィアPLICATION学会(ISBF2024)」の会長招宴が、福岡市の住吉神社能楽殿で開催されました。

ISBFは、iPS細胞から3Dプリンティング技術を用いて、生体システムや治療製品を作製する先端医工学分野の国際学会です。2024年大会は、佐賀大学医学部教授中山功一先生が大会長を務められ、2024年11月10日(日)～13日(水)、九州大学百年講堂で、海外から336名、総数463名の研究者が来福し、開催されました。

その学会での会長招宴が、日本の伝統文化を紹介したいとの会長の強いご要望で、住吉神社や関係者のご協力の下、住吉神社能楽殿で初めて開催されました。2年間の改修期間を経て再開した能楽殿では、日本の伝統芸能である能や雅楽が盛大に披露され、住吉神社境内土俵では、大相撲九州場所中の浅香山部屋の練習風景が公開されました。海外からの参加者からは、“Amazing!”と感動の声が飛び交いました。

劇場建築として全国的にも貴重な住吉神社能楽殿が、これからも国際会議などのユニークベニューとして選ばれ、福岡の伝統と文化を伝える国際交流の舞台となることが期待されます。

